



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡部 高生

TEL 03-5114-5810

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	10,833	△1.2	539	6.6	549	31.8	291	76.8
22年3月期第3四半期	10,965	△4.9	506	△19.6	416	△31.3	164	235.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	61.93	—
22年3月期第3四半期	35.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	8,807	5,373	61.0	1,142.62
22年3月期	8,456	5,269	62.3	1,120.44

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,373百万円 22年3月期 5,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—		
23年3月期 (予想)				20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	1.5	600	3.5	600	21.9	300	53.2	63.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 4,703,063株 22年3月期 4,703,063株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 361株 22年3月期 264株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 4,702,732株 22年3月期3Q 4,702,799株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(販売及び仕入の状況)	7
(1) 販売実績	7
(2) 仕入実績	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における国内経済は、政府の経済対策の影響もあり小売業を含め企業業績は全体的に改善傾向となりました。ただし需要の前倒しの懸念もあり先行きは慎重な見方となっております。

このような状況の下、当社は売上高の増加と漸減している利益の回復に向け諸施策に取り組んでおります。

(直営店商品販売事業)

コア事業のハウス オブ ローゼ化粧品事業では、主力商品である「Oh! Baby ボディスムーザー」をリニューアルいたしました。パッケージデザインを一新し内容成分に天然温泉水を配合することで従来品以上に「つるつる感・すべすべ感」を実感していただける商品として10月末に発売いたしました。またこのリニューアルキャンペーンとして女性誌数誌及び@コスメのポータルサイトにタイアップ広告を掲載、さらに11月には1ヶ月間首都圏JRや東京メトロを始め名古屋、大阪、福岡の一部路線に車内広告を展開する等、当社としては初めての試みとなる広告宣伝を実施し販売促進に注力したところ、反響も大きく新規顧客様の増加にもつながり従来品をはるかに上回る売上を獲得することができました。当事業のセグメント売上高は88億71百万円、前年同期より1億95百万円減少となり、セグメント利益は3億98百万円となりました。

(直営店サービス事業)

リフレクソロジー事業は10月に東京吉祥寺に新規出店し、また前期に出店した育成中の店舗が総じて順調に推移いたしました。顧客数も着実に回復しており当事業売上高は7億76百万円、前年同期より12百万円の増加となりました。カーブス事業は継続的に実施している個別販売促進策や会員紹介キャンペーンに加え5月にオープンした新規店舗も含め会員数がほぼ計画どおり推移、当事業売上高は3億32百万円、前年同期より57百万円の増加となりました。当事業のセグメント売上高は11億26百万円、前年同期より72百万円の増加、セグメント利益は70百万円となりました。

(卸販売事業)

量販店向け卸売上高が累計で前年同期比3.6%の増加となりましたが、反面、個人経営を中心とした店舗向け卸売上高は同5.7%の減少となりました。当事業のセグメント売上高は8億35百万円、前年同期より8百万円の減少となり、セグメント利益は70百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は108億33百万円（前年同期比1.2%減）となりました。一方、経費につきましては広告宣伝費が増加したものの全体的には経費削減が着実に進行了結果、営業利益は5億39百万円（前年同期比6.6%増）となりました。経常利益は5億49百万円（前年同期比31.8%の増）となりました。法人税、住民税及び事業税等を差し引いた四半期純利益は2億91百万円（前年同期比76.8%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は前事業年度末に比べ3億50百万円増加し、88億7百万円となりました。

①流動資産

当第3四半期の流動資産は前事業年度末に比べ4億12百万円増加し、50億82百万円となりました。

主な要因は、売掛金が5億45百万円増加したためであります。

②固定資産

当第3四半期の固定資産は前事業年度末に比べ61百万円減少し、37億24百万円となりました。

主な要因は、差入保証金が80百万円及び長期貸付金が75百万円減少したためであります。

③流動負債

当第3四半期の流動負債は前事業年度末に比べ2億42百万円増加し、26億52百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が4億円増加し、未払法人税等が2億73百万円減少したためであります。

④固定負債

当第3四半期の固定負債は前事業年度末に比べ4百万円増加し、7億81百万円となりました。

主な要因は、退職給付引当金が57百万円増加、長期借入金が40百万円減少したためであります。

⑤純資産の部

当第3四半期の純資産の部は前事業年度末に比べ1億4百万円増加し、53億73百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が1億3百万円増加したためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回発表（平成22年11月5日業績予想）に記載の業績予想に変更はありません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ999千円減少し、税引前四半期純利益は20,102千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は19,102千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,041,757	2,307,704
売掛金	1,447,765	902,639
商品及び製品	1,515,252	1,281,077
その他	82,457	183,536
貸倒引当金	△4,783	△4,783
流動資産合計	5,082,449	4,670,173
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	486,515	501,428
土地	1,519,206	1,519,206
リース資産（純額）	118,956	106,455
有形固定資産合計	2,124,678	2,127,091
無形固定資産	11,940	15,116
投資その他の資産		
差入保証金	918,107	998,748
その他	669,889	720,765
貸倒引当金	—	△75,549
投資その他の資産合計	1,587,997	1,643,964
固定資産合計	3,724,616	3,786,171
資産合計	8,807,066	8,456,345
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,553,326	1,279,182
短期借入金	400,000	—
1年内返済予定の長期借入金	74,550	207,920
未払法人税等	534	274,060
賞与引当金	53,000	199,679
その他	570,952	449,479
流動負債合計	2,652,363	2,410,321
固定負債		
長期借入金	22,600	62,920
退職給付引当金	570,522	512,926
役員退職慰労引当金	116,374	109,264
その他	71,817	91,687
固定負債合計	781,314	776,797
負債合計	3,433,678	3,187,119

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,200,975	4,097,832
自己株式	△321	△203
株主資本合計	6,417,557	6,314,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	521	△615
土地再評価差額金	△1,044,692	△1,044,692
評価・換算差額等合計	△1,044,170	△1,045,307
純資産合計	5,373,387	5,269,225
負債純資産合計	8,807,066	8,456,345

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	10,965,722	10,833,860
売上原価	3,161,652	3,098,167
売上総利益	7,804,069	7,735,693
販売費及び一般管理費	7,297,948	7,196,379
営業利益	506,121	539,313
営業外収益		
受取利息	2,664	4,435
受取配当金	1,303	4,189
不動産賃貸料	7,343	2,634
その他	2,897	3,313
営業外収益合計	14,209	14,572
営業外費用		
支払利息	5,757	3,365
保険解約損	17,373	—
リース解約損	3,628	—
不動産賃貸原価	—	1,180
貸倒引当金繰入額	75,549	—
その他	1,230	—
営業外費用合計	103,539	4,545
経常利益	416,792	549,340
特別損失		
事業整理損	—	67,848
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,102
投資有価証券評価損	—	2,526
関係会社株式評価損	16,000	—
減損損失	8,371	—
特別損失合計	24,371	89,478
税引前四半期純利益	392,420	459,862
法人税、住民税及び事業税	192,544	109,532
法人税等調整額	35,177	59,075
法人税等合計	227,722	168,608
四半期純利益	164,698	291,253

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売及び仕入の状況)

(1) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
直営店商品販売事業	8,871,432	—
直営店サービス事業	1,126,613	—
卸販売事業	835,813	—
合計	10,833,860	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

(商品分類別販売実績)

区分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
スキンケア化粧品	4,675,161	97.6
メイクアップ化粧品	957,662	96.0
ヘアケア・ボディ・バスプロダクツ	3,102,952	101.4
化粧雑貨品	894,069	96.0
リフレクソロジー	776,169	101.6
その他	427,844	101.2
合計	10,833,860	98.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

区分	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
スキンケア化粧品	869,890	98.5
メイクアップ化粧品	186,474	95.4
ヘアケア・ボディ・バスプロダクツ	1,130,575	102.9
化粧雑貨品	437,644	102.4
リフレクソロジー	7,637	104.0
その他	233,105	109.0
合計	2,865,328	101.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。